

緊急開催

介護保険制度改正・介護報酬改定対応

今後の  
動向・具体策を  
読み解く

# 今求められる **デイ戦略** セミナー

スペシャル

4名の講師がこれからの業界再編とデイの役割について提言！



**制度づくりの  
キーパーソン**

厚生労働省 老健局振興課長  
高橋 謙司氏



**制度ニーズを実現  
デイ戦略の先駆者**

在宅療養支援 楓の風グループ 代表  
小室 貴之氏



**デイの運営・経営・  
プログラムの第一人者**

日本通所ケア研究会 会長  
妹尾 弘幸氏



**地域包括ケアシステム  
実現に向けたキーパーソン**

介護給付費分科会 委員  
堀田 聡子氏

**日時** 2015年 **3月1日** 10:00 ~ 16:00  
**3月2日** 10:00 ~ 15:00

**会場** シダックスホール  
(東京都渋谷区神南 1-12-13 シダックスビレッジ)

**参加費** 2日間 30,000 円 (税・抄録代込み)

## 制度改正で通所系サービスはどうなる!?

- 小規模デイの報酬単価激減 (7~8%マイナス)
- 要支援1・2の報酬単価大幅減 (25%マイナス)
- 機能別報酬体系の導入で在宅アセスメントが必須
- 通所サービス類型化への対応と差別化
- 地域連携拠点としての機能強化
- 現行サービスにプラスしたサービス提供の必要性

### 3月1日(日)プログラム

10:00	【特別講演①】 <b>介護報酬改定と今後のデイに望まれる役割</b> 講師：高橋 謙司氏
	<b>〈今改定に込められたデイの今後あるべき姿〉</b>
	・平成27年度介護報酬改定の内容 ・デイサービスをはじめとする居宅サービスの改正内容 ・新しい介護予防と日常生活支援総合事業(総合事業)の概要 ほか
12:00	
13:00	【特別講演②】 <b>制度の期待に応え、持続可能なデイサービス運営を実践する</b> 講師：小室 貴之氏
	<b>〈「楓の風グループ」の継続的成長の秘訣〉</b>
	・加算算定の新要件は制度が期待するデイのあるべき姿 ・制度が求めるデイのあるべき姿を実現する「楓の風事業モデル」実践事例 ・軽~重度の方を受け入れ、生き様を支える生活機能向上のケア具体例 ・目的を共有し他職種が共創的に連携するチーム運営手法「円卓発想」 ほか
15:00	
15:15	【特別講演③】 <b>介護保険制度改正とその影響</b> 講師：妹尾 弘幸氏
	<b>〈制度の変化の方向と今回の改正の位置づけを知る〉</b>
	・要支援1・2の予防事業への移行とその影響 ・利用負担割合2割による利用者の動向予測 ・地域密着デイがデイに及ぼす影響 ・その他の制度改正がデイに及ぼす一時的影響、二次的影響 ほか
16:00	

### 3月2日(月)プログラム

10:00	【特別講演④】 <b>地域包括ケアのまちづくりとその担い手を考える</b> 講師：堀田 聡子氏
	<b>〈「介護」「医療」「生活支援」の深化と促進〉</b>
	地域包括ケアのまちづくりの推進に伴い、この度の「制度改正・報酬改定」では在宅ケアに舵が切られる中、デイや介護従事者・地域住民にはどのような活動や行動が求められ、また役割を果たしていかなければならないかを提言いただきます。
12:00	
13:00	【特別講演⑤】 <b>地域包括ケアでのデイの役割と地域包括ケア下で生き残るデイづくり</b> 講師：妹尾 弘幸氏
	<b>〈地域包括ケアにおける医療・介護のサービス体制〉</b>
	・地域包括ケアの内容とポイント ・地域包括ケア…その先にあるもの ・地域包括ケアでは介護のあり方はどう変わるのか ・地域包括ケアの中で生きる残るためのデイ運営方針のポイント ほか
13:50	
14:00	【特別講演⑥】 <b>介護報酬改定への対応と具体策</b> 講師：妹尾 弘幸氏
	<b>〈新報酬体系で収入は激変〉</b>
	・機能別報酬体系の加算の新要件の内容と加算算定対応のポイント ・各機能別デイ運営のポイントと対応 ・収入減の影響を抑え、収入改善に向けての取り組み ・新報酬体系でのモデルプラン ほか
15:00	

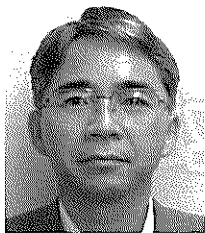
※講演内容は変更になる場合がございます

各講師の詳細・お申し込みは裏面またはwebをご覧ください

通所ケア大会 東京

検索

# 講師紹介 今後も地域・利用者に支持され続ける事業所・法人であるための最新情報を手に入れ、今後のビジョンを描いてください!



今後の介護保険制度づくりのキーパーソン

**高橋 謙司 氏**

厚生労働省老健局振興課長

京都大学法学部卒業後、建設省に採用される。建設庁関東地方建設局総務部人事第一課長、千葉県企画部企画政策課主幹、国土交通省大臣官房人事課専門官、鳥取県企画部地域づくり支援局長、厚生労働省老健局高齢者支援課長などを経て、現職。今後の制度改正・介護報酬改定におけるキーパーソンの一人。



地域包括ケアシステムの具体策と最先端の取り組みをリード

**堀田 聡子 氏**

・介護給付費分科会委員  
・独立行政法人労働政策研究・研修機構 研究員

東京大学社会科学研究所特任准教授、ユトレヒト大客員教授・オランダ社会文化計画局研究員等を経て現職。介護職の定着と能力開発促進に向けた環境整備のあり方などの介護人材政策が専門分野であり、論文・著書多数あり。現在は、地域包括ケアシステムの実現に向け現場と政策側の間に立ち、存在感を発揮している。オランダで急成長する在宅ケアの日本版推進の先頭に立ち、最先端の取り組みをリードしている。

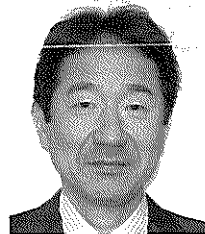


制度の目的を理解し、持続可能な事業運営を実現! 直営・FC を多数展開中!

**小室 貴之 氏**

・在宅療養支援風の風グループ代表  
・社会福祉士 ・経営学修士 (MBA)

立教大学大学院卒業。民間企業、病院勤務、医療法人経営を経て、2001年風の風を設立。向代表理事に就任。現在、在宅療養支援風の風グループCEO兼コンサルタント。リハビリ型デイの先駆モデル「デイサービス高ヶ坂」を平成15年に開設。短期満員を遂げ、以後、直営施設、FC施設、コンサルティング顧問先施設等、新規開設、業務改革、稼働率向上等数多く取り組み、その全てを成功へと導いている。通所関連の専門誌に連載多数。



デイ激戦区で特色の異なるデイを高稼働率で8つ展開! 「月刊デイ」編集長として全国各地のデイを多数取材!

**妹尾 弘幸 氏**

・株式会社 QOL サービス代表取締役  
・総合介護施設ありがとう総施設長  
・早稲田大学大学院非常勤講師

救急病院、県立病院などで理学療法士として勤務する傍ら、1998年にPT勤務と共に有限会社QOLサービス(現、株式会社QOLサービス)を設立。2004年に介護部門、多機能地域ケアホームありがとうを開設。現在は、株式会社QOLサービス代表取締役として「月刊デイ」「認知症ケア最前線」「デイの経営と運営」などを発行する傍ら、教育部門では各種養成講座や全国規模の研修会を開催している。

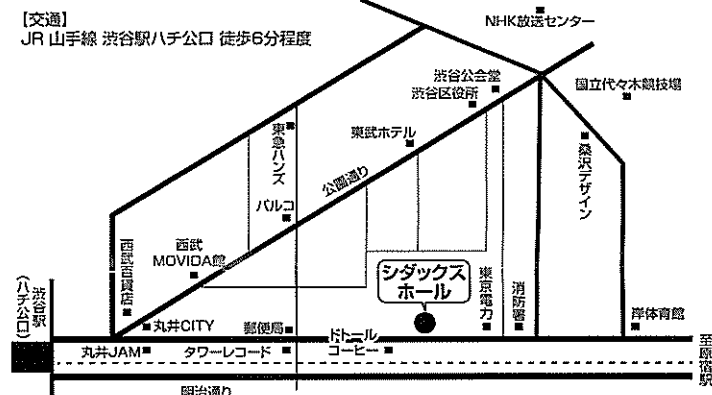
## お申し込み方法と注意事項

- 申し込み用紙にご記入の上、事務局宛にFAXまたは郵送していただくか、ホームページからお申し込みください。
- お申し込み後、入金のご案内をFAXまたは郵送にてお送りいたします。お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、事務局までご連絡ください。
- 参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません。参加者の変更は可能です。
- 当会主催の「生き残るデイになる特別セミナー」「冬期巡回全国セミナー」にご参加いただいた方を優先的に受付いたします。

FAX送信の際は番号をお確かめの上、お間違えのないようお送りください。

**FAX 084-948-0641**

## 会場地図 シダックスホール TEL (03) 5784-8830



## 第13回日本通所ケア研究大会 [東京特別大会] 参加申し込み書

ふりがな		連絡先 (自宅・勤務先)	TEL
氏名			FAX
住所 (自宅・勤務先)			携帯
勤務先			メール
			職種

※上記個人情報、当研究会の管理・運営にのみ使用します。参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません。お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、事務局までご連絡ください。

〒721-0902

広島県福山市春日町浦上1205(株)QOLサービス内

**日本通所ケア研究会事務局**

TEL **084-971-6686**

ホームページ <http://www.tsuusho.com/meeting/>

メール [info@tsuusho.com](mailto:info@tsuusho.com)

FAX **084-948-0641**

通所ケア大会 東京 検索